

「け け け け」

中央区・清滝支部 鮫島 信一
(さめしま小児科)

方言の面白さについて考えてみました。

「けけけけ」と単語「け」を4つ並べて意味の分かる人は生粋の鹿児島人です。鹿児島では「貝」のことを「け」と言います。「買い物」を「けもん」と言って「け」は「買い」を意味します。「草取りに行く」を「草取りけ行く」と助詞「に」は助詞「け」を使います。「来る」の命令型で「遊びに來い」を「遊びけ」と表現します。即ち「貝を買いに來なさい」の10文字を「けけけけ」の4文字で表現できると言う面白さがあります。

同じ4つの「け」ではありますが、それぞれ意味が違っているわけで、独特のイントネーションが付きます。「ミミファソ」の音符が付きそうです。枕崎弁や顚娃語が分かり難くて面白いのはそのためです。

笑い声にも「ハハハハ」「ヒヒヒヒ」「フフフ」「ヘヘヘ」「ホホホ」等と笑い方がありますが、夫々の言葉で表す笑いの味は微妙に違います。

神奈川県横浜市では毎年11月3日の文化の日に、地方物産展が開かれます。南九州市顚娃町からも、唐芋、大根、お茶、漬物、焼酎等の特産品を出展し、夜は郷土出身者と懇談会があり、楽しいイベントになっています。久しぶりに会ったので、懐かしい方言で賑やかに語っていました。お店の前で土産の買い物をしようとしたら、フロントの案内嬢が怪訝な顔をしながら奥へ引き返し、英語のパンフレットを持って来てくれました。「わいどん わいどん おいどんにゅ がいいんちゅ おもだたいかもニィ わいどん」(おい君たち 我々を外国人と思ったんだらうね 君たち) 顚娃語が英語になった瞬間です。

一昨年夏「バルト海5カ国クルーズの旅」に出かけましたがノルウェーの観光地で、偶然地方巡りの歌劇団に出会いました。楽器や歌も中々上手で気に入ったので、チップを弾んだら「アペー」と大声で叫ばれました。「アペー」の発声は吃驚した時に発する驚嘆の言葉と思っておりましたが、此处では「サンキュウ」の意味と教わりました。意味は違っても顚娃語と同じ発音の言葉が遥か彼方の外国で聞けて嬉しいでした。

「鹿児島ことば遊びうた」で有名な植村紀子さんの「しりとりのうた」を紹介します。

どんこびつはカエル カエルはひつとぶ ひつとぶはロケット ロケットなら種子島 種子島は鉄砲 鉄砲はいらん イランは石油 石油はくさい くさいはおなら おならならカライモ カライモは焼酎 焼酎はうんまか・・・

薩摩狂句を勉強しながら鹿児島の方言を楽しんでいます。

